

率先しよう
LEAD THE WAY

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中桑一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881

例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121

会長/中西 勝 幹事/辰巳克平 会報委員長/野田征夫

委員/吉田 明、黒田悦男

姉妹クラブ: 台北 西北区 扶輪社 1967年6月7日締結
双子クラブ: インドネシア・チネレRC-ジョグジャカルタRC 2004年7月19日締結

No. 41 平成19年5月30日

本日の卓話

5月30日(水)

「ハンドウオーク アンド
パッケージングサービス」
多田節子会員

出席報告

第2329回例会				前々回	
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
27(8)	14	5	73.68%	2	89.47%

例会記録

第2329回例会 5月23日(水) 晴

ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

ビジターご紹介

水野真利さん(堺・清陵RC)



贈呈式風景(左:スサナ様 右:久保副会長)

会長の時間

久保義誓副会長

本日は中西会長が地域の急用の為、会長の時間は変わって私が挨拶させていただきます。

5月13日から5月18日まで、インドネシア訪問いたしてまいりました。訪問者は、我クラブより8名、そして地区WCS委員長植村様と出発したわけですが、インドネシアのバリへ着くと同時に、中西会長の御尊父様が亡くなられたと連絡が入り、すぐに引き返されました。中西会長の御尊父様のご冥福を謹んでお祈りいたします。

又、本日は堺・清陵RCの水野様がお客様として来られております。水野様は、インドネシア訪問時にバリとジョグジャカルタを我々と共に行動して下さいました。大変ありがとうございました。今後とも、我々茨木RCと堺・青陵RCとがWCSを通じて、共に協力していきたいと思っています。

インドネシア訪問日程は下記の通りであります。大変強行日程でした。

2007年5月13日

11:00 関空出発

16:55 バリ・デンバサル到着
ホテルへ 後、夕食

2007年5月14日

8:00 IQの低い児童が通う学校見学(ニティマンダラRC同行)

9:00 キンタマニ地区給水プロジェクト視察(デンバサルコタRC)

12:30 キンタマニでバイキング昼食

15:00 ホテル着 休憩

19:00 デンバサル・タマンRCと第2640地区の合同例会出席

22:00 ホテル着
 2007年5月15日
 8:00 デンバサル出発
 9:30 小学校へ出発
 10:00 ランゲンサリ小学校建設施設行式
 学校で昼食
 12:00 マルディ・ウト財団(目が見えない人の財団)見学
 13:00 カルナマノハラという耳が遠い人の学校
 見学
 14:00 歩道橋設置現場 見学
 15:30 ホテル着 休憩
 19:00 チキンレストランで夕食
 プロジェクトミーティング
 2007年5月16日
 8:30 副知事との面会
 10:00 アイシアー女子孤児院給水プロジェクト
 見学
 10:45 ギワガン女子孤児院給水プロジェクト
 見学
 11:30 昼食
 13:00 幼稚園 見学
 14:00 震災現場簡易ハウス 見学
 16:00 ホテル着 休憩
 19:15 ジョグジャカルタRC80周年(同ホテルにて)
 2007年5月17日
 8:30 自由時間
 11:30 昼食
 12:30 空港へ
 13:50 ジョグジャカルタ出発
 16:00 デンバサル着
 16:30 デンバサルコタRC、デンバサルニ
 ティマングラRC
 デンバサルタマンRCとの合同打ち合
 わせ
 19:00 デンバサルニティマングラRCとの夕
 食会
 2007年5月18日
 00:15 デンバサル出発 空路関空へ
 8:00 関空着

茨木東 RC: 6 / 7 (木) 新旧引継ぎ親睦会
 於: 吉兆

2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 環境美化活動参加要請 6 / 3 (日) 9:00
- 2) RAC6月第2例会の案内 6 / 26 (火)
 於: 轟屋茨木店 登録料: 5,000円
 内容: 卒業式、年間報告、次期紹介
 締切: 6 / 20

感謝状贈呈

インドネシア共和国総領事秘書スサナ・ラハルジョ様に、長年にわたり、インドネシア共和国と茨木RCとの友好・親善に多大なる尽力をいただいたことに対して感謝状を贈呈。

委員会報告

RAC地区大会の報告

大森慈祥会員

日時: 5月20日(日)

場所: 不死王閣大ホール

参加者: 360余名(茨木RAは10名参加)

メインプログラムは、参加者が「高齢者の体験をしよう」ということでした。私は、1kgずつの鉛のスリッパで歩く体験をしましたが、歩けるものではありません。いい体験とすばらしい大会でした。茨木RACも14名になり、賑やかになっているそうです。今後も提唱クラブとして、しっかり応援していきたいと思ひます。

卓話

日本銀行の「金融調節」とは?

吉田 明会員

日本銀行は、物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資するため、金融政策を遂行しています。日本銀行の金融政策スタンスは、金融政策委員会の金融政策決定会合で議論のうえ、決定さ

幹事報告

辰巳克平幹事

1、例会変更(北撰11RCの例会変更)



れます。金融政策手段には、大別しますと、イ、公開市場操作 ロ、公定歩合操作 ハ、預金準備率操作の3つがあります。かつては、公定歩合操作が金政策の中心手段でしたが、現在では、公開市場操作 中央銀行が、市場で行う債券や手形の売買等 による市場金利の誘導が中核的な政策手段となっています。

「公定歩合」ではなくなった

日本銀行が日本全体の金利水準を上下させるためには、「公定歩合」を動かします。学生時代、私たちはこう習いました。今でもそうだと思っている人が以外と多いのですが、実はそうではありません。以前は確かに、公定歩合が預貯金等の金利水準を決める基準となっていました。公定歩合とは、金融機関が日銀から資金を借りる時の金利のことでした。ところが、1994年に金利が完全に自由化されたことで、日銀が公定歩合を上下させることが、直ちに預貯金の金利と連動するとは限らなくなりました。こうしたこともあって現在は、公定歩合ではなく、日銀が金融機関との間で国債を売買することなどによって、金利水準をコントロールするようになっているのです。

国債を売買することなどによる金融調節

金融機関は、近年お客様から預かった資金を運用するために、国債を大量に買っています。金融機関には現金ではなく、国債がたくさんあります。

もし日銀が、こうした国債を買い上げたら、どうなるでしょうか？

日銀は代わりに資金を払いますから、金融機関にはその分資金が増えます。そうなれば、コール市場で貸すことのできる資金も増えます。コール市場に資金が増えれば需要と供給の関係で短期金利は低下します。一方、日銀が持っている国債を金融機関に売ると、金融機関の手持ちの資金が減りますから、コール市場で貸し出せる資金の量は減り、コール市場の金利は上昇します。これが、現在の日銀が実施している金利のコントロール方法なのです。

ちなみに、現在の公定歩合は、年0.75%です。無担保コールレート（オーバーナイト翌日物）は、現在0.5%前後で推移しています。

個人で買える主な国債の特徴

	固定金利型	変動金利型	通常の利付き国債
満期	5年	10年	2, 5, 10年
最低投資金額	1万円	1万円	5万円
発行頻度	年に4回	年に4回	毎月
適用利率	実勢金利を基準に0.05%差し引き。満期まで固定	実勢金利を基準に0.08%差し引き。半年ごとに見直し	実勢金利で満期まで固定
途中売却の制限	原則、購入後2年は換金できない。直前4回分の税引き前、利息を返還	原則、購入後1年は換金できない。直前2回分の税引き前、利息を返還	いつでも可能
売却価格	額面通り	額面通り	時価で売却元本割れリスクを負う

ニコニコ箱

ホームクラブ皆出席

秋山、簡、久保、野田
坂井、戸川

インドネシアではいろいろとお世話になり有難うございました。茨木 RC の方々とご一緒することが出来、楽しく視察ができました。今後ともよろしく願います 水野(堺清陵 RC)

インドネシアより無事帰って来ました 久保

今回は無事に帰って来ました 長澤

インドネシアより無事帰国 坂井

インドネシアから無事もどって来ました。水野さん、ようこそ又来てください 辰巳

5 / 13 からのインドネシア WCS に参加させて頂
き勉強になりました 吉田
吉田会員 金融の話はいつ聞いても興味深く感じ
ています 樋口
インドネシア訪問より無事帰国されお疲れ様で
した 簡
吉田会員卓話有難うございました ジャカルタ
出張の皆様お疲れさまでした 三好
インドネシアからよくいらっしゃいました「テレ
マカシー（有難う）」ご苦労様でした 大森
先週の例会を腰痛のため欠席しました 野田
インドネシアのおみやげをいただいて。吉田会員
卓話有難うございました 朱
インドネシアへ行かれた皆様大変ご苦労様で
ございました 多田
遅刻のおわび 戸川

本日計 43,000円

累計1,910,722円

次回卓話

「年間活動報告」

クラブ奉仕、職業奉仕委員会 各委員長